氏名：清水　快

学籍番号：71504152

選択したテーマ　⬜　SFCでCreative Codingを盛り上げる方法

　　　　　­

**トレンド分析**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **過去** | **変化** | **未来** |
| **技術** |  |  |  |
| **人** |  |  |  |
| **文化** |  |  |  |
| **ビジネス** |  |  |  |

**歴史分析**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **時代1** | **時代2** | **時代3** |
| **年代** | 30代前半〜  30代後半 | 20代前半〜  20代後半 | 10代後半〜  20代前半 |
| **ユーザ** | ソフトウェアエンジニア　やSler | ベンチャーエンジニア（アプリ開発など） | 芸大生、 |
| **用途** |  |  |  |
| **技術** | 元々エンジニアで趣味として力試しをしている | 問題なくレファレンスなしでオリジナルを作ることができる | レファレンスを見て例を作り上げることができる |

**統計情報**

**インタビュー**

聞き手：先輩、クリエイティブコーディングで収入得ている人、広告業界の人、クリエイティブコーディングをやってみたい人

内容：

・別にプログラミングが苦手じゃないんだけど、きっかけがない

* そもそもやってる人が周りで少ないから、やる気が出ない
* 作品を作ったあとが見えない

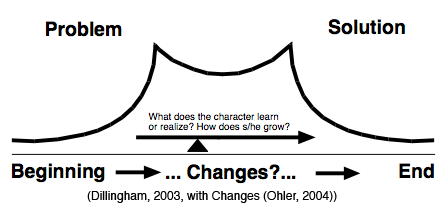
・作品を展示するということがない、目標が見えない

・もっと多くの女性の参加を呼ぶためにもレッスンの費用免除制度とか流行らせていきたい

・

**ストーリー曲線**

**主役ペルソナ**



名前：がんばり太郎

年齢：10後半〜20代前半

職業：学生

趣味：カメラ、アニメ

性格：好奇心が強い、理系、音楽好きな人

現状(as is)：

プログラミング言語を習得しているが、きっかけがない人

アートをあんまり理解しがたい人

目標(to be)：

他のメディアアート作品に興味を持ってイベントに行く人

他のハッカソンイベントに仲間集めて参加する

|  |  |
| --- | --- |
| **Beginning** | SFCではそもそもデザインの授業が少ない、プログラミングの授業もあるけど、何に使うかわからないとモチベーションが出てこない。­多くのデザインの授業は技術がないと履修が大変。 |
| **Problem** | そもそもアートってなんだし。  技術も必要だし、 |
| **Changes** |  |
| **Solution** | 学生が作り上げたイベント、業界からのプロも参加するハッカソンがある。 |
| **End** | 自分の作品を作り上げる前に、を自分の目を確かめるために、Ars Electronicaや身近なミートアップまで足を運ぶ |

名前：

年齢：10後半〜20代前半

職業：学生、メディアキューレーター、

趣味：インスタグラム、朝ごはん外食が好きな人

性格：文系、

現状(as is)：

プログラミングができない人、苦手意識を持っている人

そもそもメディアアートなど知らない人

目標(to be)：

ちょっと興味があり、デザインにかじりたい意欲を持つ

メディアアート作品の

